

技能章・研究ノート

野営管理章

※技能章・研究ノート活用については、「技能章・研究ノートについて」を参照

参考書籍：技能章ガイドブック 野営管理章、炊事章、野営章

救急法

指導者のためのスカウト・キャンプ

スカウトハンドブック

スカウトライブラリー ロープむすび

日本ボーイスカウト愛媛県連盟

松山地区 第 団

氏名 _____

(1)野営計画時において次の項目について点検し、点検報告書を作成する。

点検日時： _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 場所： _____ 天気 _____

技能章ハンドブック野営管理章を略して以下、『野管』とする

野管 P. 12～25、指導者のためのスカウト・キャンプ P. 48～62

No.	項目	現地の状況	評価
ア	キャンプ地の選定 (水質調査含む)		
イ	食料と燃料の手配		
ウ	便所とゴミ捨ての 衛生処理		
エ	班サイトの立地条件 (炊事場・かまど・配 置条件を含む)		
オ	現地における緊急 対策		

総合評価

--

上記の通り点検したことを証明する 隊長サイン _____

(2)朝と夜の点検の重要性と心構えにつき説明し、朝と夜の点検の各点検項目表を作成し、それを用いて実際のキャンプにおいて点検を行い、報告する。

野管 P. 27～30、指導者のためのスカウト・キャンプ P. 48～62

点検の重要性と心構え

朝と夜の点検の心構え

点検の目的と目標

朝の点検の重要性

夜の点検の重要性

点検項目表

実施日：

場所：

点 検 内 容	点 検 結 果	
	夜	朝

(3) キャンプ中に起きるかも知れぬ突発事故（例えば急病、火災、盗難、虫害、風水害など）が起きた場合の処置について説明できること。

野管 P. 31～38、指導者のためのスカウト・キャンプ P. 38～47

--

(4) 次のキャンプ用具の格納・保管にあたり、行うべき処置を知ること。

野管 P. 39～50、指導者のためのスカウト・キャンプ P. 85～88、スカウトハンドブック P. 190、ロープむすび

部位	格納・保管にあたり、行うべき処置
テント、フライシート	
グラウンドシート	
ペグ	
工具	
炊具	
ロープ類	

(5) 水辺または水泳プログラムを有するキャンプの安全管理につき、特に注意する点を説明できる事

指導者のためのスカウト・キャンプ P.61～P.62、スカウトハンドブック P.182～183、野管 P.51～54



(6) キャンプにおいて朝礼、スカウトオン・サービス、キャンプファイヤーを計画、実施し、それぞれの意義について説明する。

野管 P. 55～63、指導者のためのスカウト・キャンプ P. 78～84

朝礼

実施日： 場所： 隊長サイン：

スカウトオン・サービス

実施日： 場所： 隊長サイン：

キャンプファイヤー

実施日： 場所： 隊長サイン：

(7)隊、地区または県連盟など 1個隊以上の規模で行われるキャンプ、または常設キャンプ場の管理に通算3昼夜以上奉仕した経験があり、その奉仕記録または報告書を提出する。

奉仕記録

期間	泊数	場所	参加人数	活動内容
年 月 日 ~ 年 月 日				
年 月 日 ~ 年 月 日				
年 月 日 ~ 年 月 日				

上記の通り奉仕したことを証明する 隊長サイン _____

(旧野営管理章参考)

野営において次の点検をし、各項目について評価表と点検報告書を作成し、提出すること

No.	項目	観点	評価点	MEMO
(2)	食料と燃料の貯蔵			
(3)	便所とゴミ捨ての衛生処理			
(4)	炊事場の設計と工作			
(5)	炊具、工具の手入れと整頓			
(6)	キャンプにおける安全と秩序保持			
(7)	役割分担とチームワークの良否			
合計点				

(旧野営管理章参考)

次のキャンプ用具の格納・保管にあたり、行うべき処置を知りこと。

(7) 毛布

(旧野営管理章参考)

(7) キャンプにおける儀式、儀礼とキャンプファイヤーの意義につき説明できる事